



学校だより

令和2年度小川中学校
令和3年1月27日 発行

NO, 11 文責:小林 浩一

< 1月5日 (火) 校長講話より >



新しい年が始まりました。本年もよろしくお願いたします。
この冬は、積雪も多く、何年かぶりに冬らしい冬となりました。信州の豪雪地帯に生まれ、晩年を信州で過ごした小林一茶の俳句です。「心から しなの雪に 降られけり」。新年の小川村を表す俳句かと思ひます。

さて一年前、令和2年のこの時期、どんなことを考えていたでしょうか。台風による被害も少し落ち着き、今年はオリンピック・パラリンピックと熱気ある、わくわくする年になりそう。そんなことを考えていました。現実はずれました。コロナウイルスと格闘した一年でした。全く予想のつかない時代に入ってきたことを実感した昨年の一年間でした。

貧困、紛争、気候変動、感染症。私達は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなるという危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。SDGs。皆さんもよく知っている目標ですね。昨年の11月くらいから急に、マスコミでも多く取り上げられるようになってきました。

気候変動。大きな課題ですね。気温の上昇から海面の氷が減り、シロクマの生存が難しくなっています。ペンギンの生息地も雪や氷が溶けてしまっています。南極です。卵が水没してしまい、ペンギンの生息数が激減しています。北極圏のトナカイです。雪から雨に変わり、食料の調達が難しくなっています。

気候変動。主には温暖化ですが、2019年の世界中の気温が、10年前までの気温と比較してどうなっているのかということの色で表した図です。北極、南極、南アフリカ等、かなり上昇している地域があります。地面が干上がってしまっている所もあります。

気温の上昇により、山火事も頻発しています。秋にはアメリカで大きな山火事がありました。一年前はオーストラリアで山火事がありました。人間の命も失われましたが、多くの野生動物の命も失われました。救助されたコアラのニュースは全世界に配信されたので、皆さんもこの画像を見たことがあるかもしれません。火傷をしてしまったコアラの画像も日本に届きました。

気候変動、温暖化はこのままでいくといくら対策をとっても2度は上がってしまうと言われていています。何も対策を取らなければ、4度上昇すると言われていています。2020年の夏は暑かったですね。特に9月上旬は寝苦しい日々が続きました。長野でも一日の最低気温が27℃という日がありました。一日の中で一番気温の低い明け方で27℃でした。その前後も25℃、24.9℃という日でした。3年生が生まれた15年前。2005年の9月の長野の気温はこうでした。一日24℃の日がありましたが、他は20℃前後。いかに今年の夏が暑かったかが分かります。このまま2℃上がると、長野の9月の最低気温は29℃。何も対策を取らないで4℃上がってしまうと、31℃ということになってしまいます。一日中エアコンをつけなければ生活できない。この長野でも。そうなったら東京などはどうなってしまうのでしょうか。人間が生活することができるのでしょうか。考えただけでも恐ろしいですね。

気候変動の主な原因として、二酸化炭素濃度の上昇と考えられています。森林破壊が進んでいることもその一因とされていることは、皆さんもよく知っていることかと思えます。

これは何を運んでいるか分かりますか。アフリカのエチオピアという国での光景です。運んでいるのは女性か子どもです。木を伐採して、家庭の調理で使うまきを運んでいるのです。エチオピアでは調理に関わることは全て女性・子どもの仕事となっています。まきを運ぶのも、水を運ぶのも全て女性・子どもの仕事です。自分の家から片道2時間、歩いてまきを買いに来ます。往復4時間歩かないと、森林がないのです。歩いて2時間といいますが、ここから七二会中学校のあたりまででしょうか。そんな場所がここだけではありません。至る所で森林は破壊されています。

エチオピアの首都、アジスアベバ周辺です。もう森林がほんの少ししか残されていません。小川から七二会までの状況と比べると、その違いがよくわかります。

でも、まきがなければ生活できません。食事を作ることができません。まきは生きていくために、なくてはならないものなのです。エチオピアでは家の中でまきを炊いて調理をします。家の中は煙が充満し、この煙が原因で毎年多くの方が亡くなっているんです。マラリアなどの感染症が原因で命を落としてしまう方の数よりも多くの方が、調理の際の煙が原因で亡くなっているという現実があります。

でも、ガスなどの器具は高価で購入できない。貧困が原因で、尊い命が失われています。でも生きていくために、木の伐採もやめることができない。難しい問題です。

この人の命、人権を守る。私たちが生きていく環境を守る。この両方を一緒に考えていこうと採択されたのが、SDGsです。5年前までは、この二つが別々に考えられていました。別々に考えていても解決できないといった反省から、SDGs、17の目標を作り、人権と環境と共に考え、地球上で「誰一人取り残さない」ための活動となりました。

17の目標。いくつか知っているもの、聞いたことのあるものがあるかと思えます。自分が関心のあるもの、考えていかなければ、何とかしなければ、というものもあるかと思えます。(1~17、簡単に説明)

実は、この17の社会の課題に対する目標の中から、全社員に「自分はどれに取り組んで、2030年、10年後の世界を変えていくんだ」と取り組ませている企業があります。今までは、企業の利益の中から、このような社会の課題に投資しようという考えでしたが、今は企業の活動自体がSDGsと変わってきています。

小川中学校でもそうでした。3年生の平和学習。16「平和と公正をすべての人に」に向けての活動でした。生徒会のアルミ缶収集。2「飢餓をゼロに」、3「すべての人に健康と福祉を」に向けての活動でした。

SDGsがスタートして5年が終了しました。2021年の始まりは、目標達成までの残り10年の始まりです。2030年。1年生は23歳くらいでしょうか。その年に社会に出る人もいるかもしれません。その時に、この世の中はどう変わっているのか。「誰一人取り残さない」世の中になっているのでしょうか。それは私たちの今後の生き方が決めていきます。

一年前に山林火災から救助されたコアラ。何だか私たちに向かって「人間よ。この地球を何とかしてくれよ」と問いかけているように感じます。皆さんはどう感じるでしょうか。

以上になります。よい年を創り上げていきましょう。

～校長講話の感想より～

今回のお話は人ごとですませてはいけないものだなあと思いました。このまま何もせずに暮らしていけば、2~4度にまで気温が上がってしまうなんて考えられないと思いました。海面は上昇し、森林はなくなり、人間が暮らしていくことができなくなるんじゃないかとかわく感じました。でも、それを変えていくために、私たちが行っていた「アルミ缶回収」も役立つことができたんじゃないかと思えます。SDGsについても日々、深く考えていかななくてはならないと思いました。(3年生女子生徒の感想より)

1月の行事より

< 1月5日(火) 賞状伝達式 >

女子(1年) 第43回長野県読書感想文入選

女子(1年) 第71回長野県児童生徒美術展入選

男子(2年) 第71回長野県児童生徒美術展入選

男子(3年) 第71回長野県児童生徒美術展入選

女子(3年) 第71回長野県児童生徒美術展入選

男子(3年) 長野上水内教育会児童生徒図画工作・美術展入選

6名のみなさん、おめでとうございます。



< 1月6日(水) 吹奏楽部アンサンブルコンテスト壮行会 >

北信アンサンブルコンテスト壮行会において、金管打楽器六重奏のみなさんで「こどもの生活より」、木管四重奏のみなさんで「サウンド・オブ・ミュージック」の演奏披露が行われました。どちらも、ここまでの練習の成果もあり、聴き応えのある演奏でした。

壮行会後の土日の練習では、先生方や保護者の皆さまにも鑑賞していただき、様々なアドバイスをいただきありがとうございました。コンクール前には壮行会時よりさらに素晴らしい演奏に仕上がっていたと思います。



吹奏楽アンサンブルコンテスト結果について

吹奏楽部アンサンブルコンテスト(北信B地区大会)の結果をお知らせします。小川中学校 金管打楽器六重奏「銅賞」、木管四重奏「銅賞」でした。吹奏楽部のみなさん、顧問の先生方ご苦労様でした。当日は、観客のいない審査員の前で行う演奏は緊張したでしょうね。コンクールを通して得たことを今後に生かしてってください。

< 1月14日(木) 三校(信州新町中、中条中、小川中) オンライン合同授業(2学年) >

2学年で中条中、信州新町中とオンラインで、英語の合同授業が行われました。Today's Goalは、聞き手に効果的に伝わるように、各学校で人気のあるものについてプレゼンテーションしよう。でした。

好きな季節、教科、麺類についてグループごとに集めた情報を図表や既習事項を生かしながらプレゼンテーションし、互いに聞いたり見たりする授業でした。アン先生からは、発表の注意点として Intonation、Eye contact、Big voice があげられていました。特に普段より大きな声ではっきり発音しようと言っていました。これを受けて、グループでの発表練習では、みんなで声を合わせようとか、アイコンタクトのためには原稿をパソコンに貼って画面を見ながら話そうなど工夫して練習していました。

実際の各グループの発表では、図の色を変えて分かりやすくしている。



比較級や最上級など使って分かりやすく話しているなど互いの工夫点を見たり、聞き取ったりしていました。また、ハウリングして聞き取りにくい時にも耳を澄ませ、集中して聞こうとする姿が印象的でした。

最後の感想発表では、他校では、調べたことの結果だけでなくその理由まで調べていてすごいと思った。オンラインの楽しさや大勢で行う授業が新鮮だった、内容を聞いて理解できてよかった、などありました。今回の授業で、他校から学んだ部分は、今後の授業に取り入れていきましょう。



<1月21日(木) 新入生説明会(1学年)>

新入生説明会では、1年生のみなさんが、この日のためにパソコンでつくった総24ページの中学校入学説明資料を用意し、「夢の世界を」の歓迎の歌から入り、応援、吹奏楽の演奏と実演、クイズも交え、パワーポイントを使いながら丁寧に説明をしてくれました。

中学校に不安を感じていた6年生も、みなさんの姿を見て、きっと中学に憧れをもってくれたと思います。実行委員6名のみなさんをはじめ、準備をしてくれた1年生のみなさんありがとうございました。



【部活動の説明の場面から】

<お知らせ>

【高校の将来像についての提案書について】

先日、学校のホームページの「学校からのお知らせ」に「4市町村教育委員会からのお願い」「旧第3通学区の高校の将来像を考える地域の協議会」が意見・提案書を作成いたしましたのでご覧いただきご意見をお寄せください。と掲載してあります。

ご意見は添付した意見シートを利用して、指定された事務局まで郵送、メール、またはFAXで送付していただくか、直接、小川村教育委員会までご持参ください。

【GIGAスクール構想1人1台パソコン】

国が進めているGIGAスクール構想、1人1台のパソコンの搬入が1月20日(水)に行われました。これから利用する上での注意事項を整備し、職員の研修後に運用していきたいと思えます。

基本的には学校の授業で利用していきますが、オンライン授業が必要な場合には、ご家庭に貸し出すことも検討しておりますので、その際には、ご家庭のご協力をお願いいたします。



【1人1代のChromebookPC】